

特集 厚木基地をめぐる情勢と市の取り組み

県下でも有数の人口密集地である本市に厚木基地が所在すること、多くの市民が、長年にわたり航空機騒音や事故への不安に悩まされています。今号では、厚木基地の現状や国から2017(平成29)年頃と示された空母艦載機の移駐、市の主な取り組みについてお知らせします。



大和市の住宅密集地上空を飛行する空母艦載機

母が横須賀に入港する直前に沖合から厚木基地に飛来し、空母出港後は再び沖合の空母に帰還します。

昨年(平成28)年11月7日、空母が横須賀に入港しており、それに伴い艦載機が厚木基地を拠点として飛行活動を繰り返す。艦載機の飛行は、生活環境の悪化や事故への不安など、さまざまな影響を市民に及ぼします。また、空母の出港前には、地上の滑走路の一部を空母の甲板に見立て離着陸を繰り返す艦載機の着陸訓練(FCLP: Field Carrier Landing Practice)が実施されます。そのうち夜間に実施されるものはNLP(夜間連続離着陸訓練)と呼ばれています。こうした訓練は1993(平成5)年に硫黄島代替訓練施設が米軍に全面提供されて以来、そのほとんどが硫黄島で実施されていますが、天候などの理由により厚木基地で実施される可能性があるため、市では決して厚木基地で実

厚木基地の現状

厚木基地と空母艦載機

厚木基地周辺住民に深刻な被害をもたらしている航空機騒音の主な原因は、横須賀を事実上の母港とする米空母ロナルド・レーガンの艦載機の飛行によるものです。艦載機は、空

(以下「ロードマップ」)において、空母艦載機計59機が2014(同26)年までに山口県の岩国飛行場に移駐するとされましたが、その後、国から施設整備の全体工程を見直した結果、移駐は3年ほど遅れ、2017(同29)年頃に完了するとの説明がありました。

今年5月の「第6回厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」では、国から、移駐先の施設整備は着実に進捗しており、移駐後の厚木基地周辺の騒音状況は相当程度軽減されるなどの説明がありました。また、9月にはロードマップで移駐の要件とされた訓練空域について、日米間で調整が整い、「岩国臨時留保空域」が11月から設定される予定である

空母艦載機の移駐に係るこれまでの経緯

2006(平成18)年5月	「再編実施のための日米ロードマップ」で2014(平成26)年までに厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐が示される
2013(平成25)年1月	国から、施設整備の全体工程を見直した結果、岩国飛行場への移駐は2017(平成29)年頃になる見込みであると説明(その後、10月に日米安全保障協議委員会(2プラス2)で確認)
2013(平成25)年5月	本市を含む厚木基地周辺9市、県、国(防衛省)が、移駐の具体的なスケジュールや進捗状況、移駐までの間の騒音軽減策などについて情報交換などを行うことを目的に「厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」を設置(第1回協議会)
2013(平成25)年11月 2014(平成26)年1月 2014(平成26)年5月 2015(平成27)年5月	「第2回～5回厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」を実施 協議内容▶ ・日米安全保障協議委員会における協議内容について ・移駐に係る進捗状況について ・厚木飛行場周辺住民及び自治体の負担軽減策について ・恒常的訓練施設の進捗状況等について
2016(平成28)年5月	「第6回厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」で、国から移駐先の施設整備は着実に進捗している、移駐後の厚木基地周辺の騒音状況は相当程度軽減されるなどの説明
2016(平成28)年9月	国から、ロードマップで移駐の要件とされた訓練空域について、日米間で調整が整い、「岩国臨時留保空域」が11月から設定される予定であるとの説明

との説明がありました。

国から示された空母艦載機の移駐完了時期が間近に迫る中、市は、国や米側に対し、一日でも早い移駐完了はもとより、移駐の具体的なスケジュールや移駐後の厚木基地の運用などについても早急に示すよう強く求めています。

市の主な取り組み

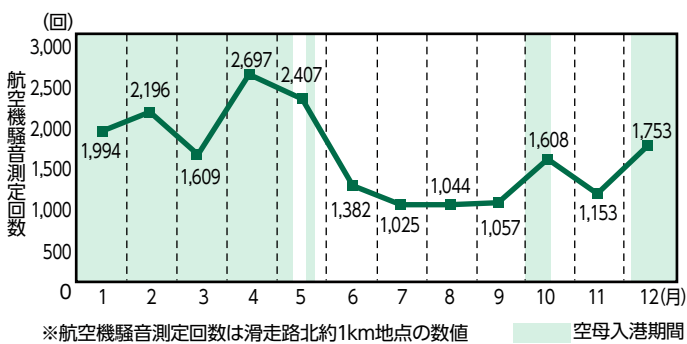
航空機騒音をはじめとした厚木基地にかかわる諸問題の解決に向けて、市は県や基地周辺市とも協力しながら、国や米側に対して要請活動などを実施しています(下表参照)。

また、市民・議会・行政の代表者で構成される大和市長官舎協議会

施することのないよう国や米軍に要請しています。

しかしながら、2012(同24)年には、空母の運用上の都合により出港が数日間遅れたことから、市の再三の中止要請にもかかわらず離着陸訓練が厚木基地で実施され、市民に甚大な航空機騒音被害をもたらしました。このように厚木基地周辺の生活環境は、空母の動向に左右されるとい

空母入港期間と航空機騒音測定回数(平成27年)



※航空機騒音測定回数は滑走路北約1km地点の数値

(会長:大木哲市長)においても、厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善を求めています。



外務省での大和市長官舎協議会の要請活動

市民ははまだ空母艦載機による甚大な騒音被害を受け続けています。また、航空機事故や米兵などによる事件・事故への不安など、厚木基地の所在により長年にわたり多大な負担を強いられています。

厚木基地をめぐるさまざまな動きがある中、市では一日も早い空母艦載機移駐の実現による航空機騒音の軽減など、厚木基地に起因する諸問題の解決に向け、県や周辺市と連携しながら取り組んでいきます。

なお、厚木基地に関わる諸問題に対する市の取り組みについては、市のホームページに随時掲載しています。

厚木基地対策課 担当 電話 260-5310

平成28年の主な要請活動など

月日	要請者	要請先	内容
4月26日	大和市長	在日米海軍厚木航空施設司令官 防衛大臣、外務大臣	空母艦載機の着陸訓練を厚木基地で実施しないよう要請
5月24日	大和市長	在日米海軍厚木航空施設司令官 防衛大臣、外務大臣	空母艦載機の着陸訓練を厚木基地で実施しないよう要請
5月25日	県と基地周辺9市	防衛大臣	空母艦載機の着陸訓練全てが硫黄島で実施されることを確実にするよう要請
6月7日	大和市長	海上自衛隊第4航空群司令	厚木基地所属の自衛隊員逮捕を受け、自衛隊員の規律保持の徹底に向けた取り組みを講じるよう要請
8月16日	大和市長	在日米海軍厚木航空施設司令官 防衛大臣、外務大臣	空母艦載機の着陸訓練を厚木基地で実施しないよう要請
8月17日	神奈川県基地関係 県市連絡協議会	防衛大臣、外務大臣 など	「平成29年度基地問題に関する要望」
	県と基地周辺9市	防衛大臣	空母艦載機の着陸訓練全てが硫黄島で実施されることを確実にするよう要請
9月27日	大和市長官舎 協議会	防衛大臣、外務大臣、 総務大臣、駐日米大使 など	「平成28年度厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望書」
10月27日	厚木基地騒音対策 協議会	防衛大臣、外務大臣、駐日米大使 など	「厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等に関する要請」

空母艦載機の移駐

在日米軍再編に伴い、2006(平成18)年に日米両政府間で合意された「再編実施のための日米ロードマップ

最近の厚木基地をめぐる動き 市内では、昨年12月に空母ロナルド・レーガンが横須賀に入港して以降、艦載機が厚木基地に飛来し、市民は甚大な騒音被害にさらされました。6月上旬に横須賀を出港した空母が7月下旬に再び入港したため、いわゆる夏休みの時期も含め9月初旬まで艦載機の飛行が繰り返されました。このようなか、4月と8月には、国から艦載機の着陸訓練を硫黄島で実施するとの公表があり、天候などの理由により厚木基地で着陸訓練が実施される可能性も示されたことから、市では、その都度、航空機騒音被害に苦しむ市民の実情を十分理解し、決して厚木基地で着陸訓練を実施しないよう米軍や国に強く要請しました。結果として、艦載機の着陸訓練は厚木基地で実施されること無く、すべて硫黄島で実施され、9月初旬に空母は横須賀を出港し、ほとんどの艦載機も厚木基地から飛び立ちました。